

JAバンクあきたにおける 地域密着型金融の取組みについて (2019年度)

農林中央金庫秋田支店



地域密着型金融の取組状況(2019年度)

- JAバンクあきた(秋田県下JAと農林中央金庫秋田支店)では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
- 2019年度の地域密着型金融の取組状況について、ご報告いたします。

目次

- 1 農山漁村等地域の活性化のための支援
(農業メインバンク機能強化への取組み) ……P1
- 2 農業担い手の経営ステージに応じた支援 ……P8
- 3 農業担い手に適した資金供給手法の提供 ……P11
- 4 農山漁村等地域の情報集積を活用した
持続可能な農山漁村等地域振興への貢献 ……P15

1 農山漁村等地域の活性化のための支援 (農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンクあきたは、地域における農業者との連携を強化し、地域を活性化するため、次のような取組みを行っております。

1-1 農業融資商品の適切な提供・開発①

- JAバンクあきたは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営をサポートしております。
- 2020年3月末時点のJAバンクあきたの農業関係資金残高^(※1)は35,941百万円(うち農業関連団体等向け貸付金4,084百万円)、日本政策金融公庫等の受託貸付金残高^(※2)は8,449百万円となっております。内訳は1-2、1-3の表のとおりとなっております。

(※1)農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(※2)JAバンクあきたが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っております。

1-2 農業融資商品の適切な提供・開発②

【営農類型別農業資金残高】 (単位:百万円)

| 営農類型 | 2020年3月末現在 |
|-------------|------------|
| 農業 | 31,858* |
| 穀作 | 11,313 |
| 野菜・園芸 | 418 |
| 果樹・樹園農業 | 58 |
| 工芸作物 | 8 |
| 養豚・肉牛・酪農 | 2,794 |
| 養鶏・鶏卵 | 25 |
| その他農業(注1) | 17,242 |
| 農業関連団体等(注2) | 4,084 |
| 合計 | 35,941 |

* 四捨五入の関係で内訳と合計が一致していません。

(注1)「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

(注2)「農業関連団体等」には、JAや全農、それらの子会社等が含まれています。

1-3 農業融資商品の適切な提供・開発③

【資金種類別農業資金残高】 (単位:百万円)

| 種 類 | 2020年3月末現在 |
|-------------------------|------------|
| プロパー資金 ^(注1) | 25,223 |
| 農業制度資金 ^(注2) | 10,718* |
| 農業近代化資金 | 6,385 |
| その他制度資金 ^(注3) | 4,332 |
| 合 計 | 35,941 |

* 四捨五入の関係で内訳と合計が一致しておりません。

(注1)プロパー資金とはJAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2)農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンクあきたが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

(注3)その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位:百万円)

| 種 類 | 2020年3月末現在 |
|------------|------------|
| 日本政策金融公庫資金 | 8,449 |
| そ の 他 | 0 |
| 合 計 | 8,449 |

(注) JAバンクあきたでは、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

1-4 担い手のニーズに応えるための体制整備

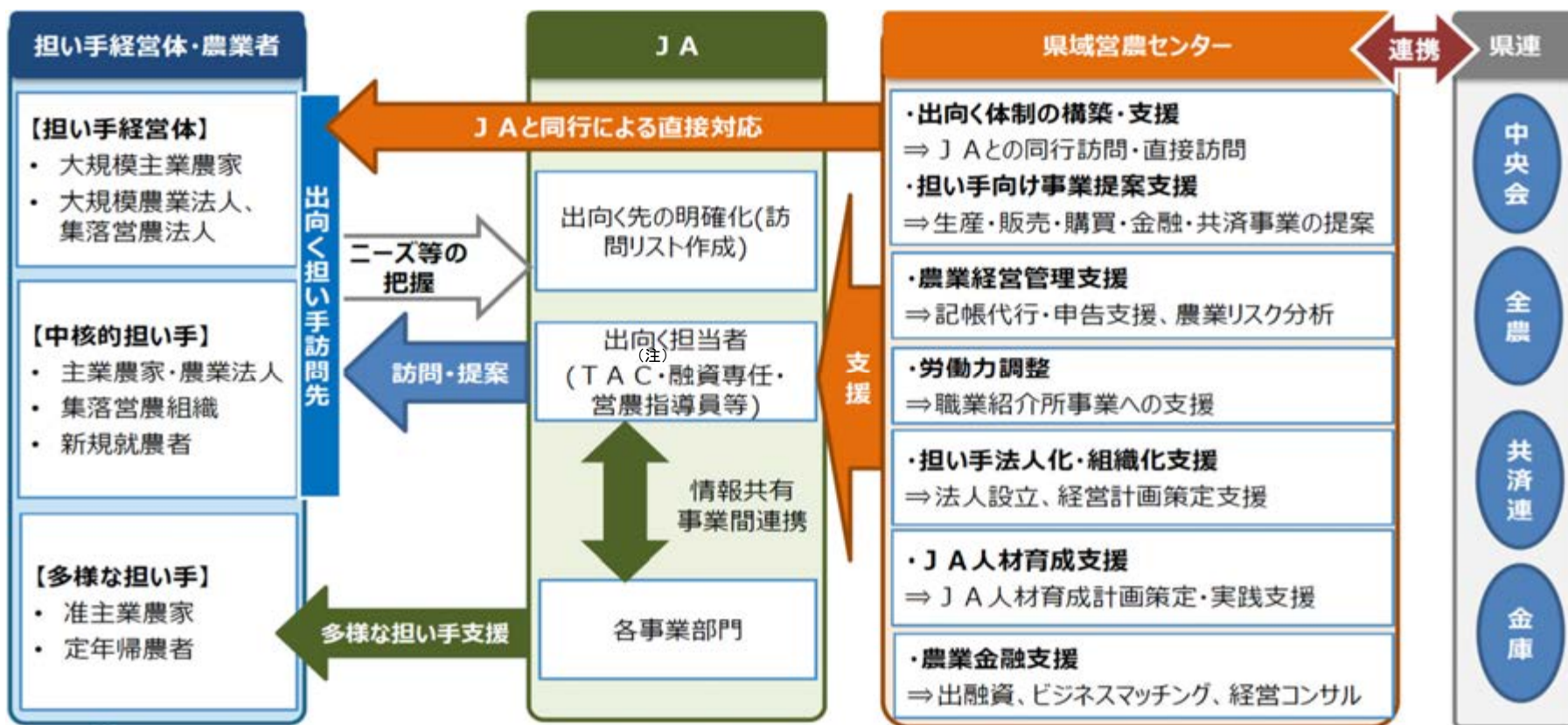
- JAでは、本支店(所)の農業融資担当者が、営農・経済担当者と連携し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しております。また、県内の各JAの本支店には、計63名の「担い手金融リーダー^(注)」を配置し、農業融資に関するご相談・ご提案活動を実施しております。

(注)担い手の実態把握や融資・相談対応のほか、JA内の各事業との連携を担う農業融資の実務リーダー。

- JAの農業融資に対する率直なご意見・ご感想について、農業者へお伺いすることを目的にお客様満足度の計測を行っております。得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることができるよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでおります。

1-5 農業メインバンク機能強化支援体制

- JAグループあきたでは、大規模農業者・農業法人等の専門的なニーズへの対応やJA農業金融への取組み(出向く体制の整備等)の充実を図るため、JA秋田中央会、JA全農あきた、JA全共連秋田、農林中金秋田支店にて「JAグループ秋田 県域営農センター連絡協議会」を設置し、関係機関が一体となって、農業者への金融対応力の強化に取り組んでおります。



(注)TAC・・・Team for Agricultural Coordinationの略で全国各地のJAとJA全農が組織するコーディネートチーム。農業経営者を日々訪問し農業経営に関するあらゆる相談に応えている。

1-6 JAグループ秋田 県域営農センターの取組

具体的取組事例

1. 出向く活動による実態把握と課題收拾

- 農業法人への出向く活動による課題收拾
- 担い手経営体との相談会による経営支援の実施

2. 担い手経営体への支援

- 「農業経営管理支援システム」^(注)による記帳代行等
- 無料職業紹介所開設等による労働力調整支援

3. 営農担い手支援体制の育成強化

- 営農指導員の資質向上を目的とした各種研修の開催

(注)農業経営管理支援システム…JAの購買・販売、信用の各種事業にかかる組合員の取引データを自動的に取込し、農業所得の決算書や税務申告書までを一元的に作成可能とする仕組み。

2 農業担い手の経営ステージに

応じた支援

JAバンクあきたは、農業の担い手をサポートするため、経営ステージに応じて、次の取組みを行っております。

2-1 新規就農者の支援

- JAバンクあきたでは、新規就農者の経営をサポートするため、各種資金を取り扱っております。

【2019年度 新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

(単位:件、百万円)

| 資金名 | 新規実行件数 | 新規実行金額 | 2020年3月末残高 |
|-------------------------|--------|--------|------------|
| 青年等就農資金 ^(注1) | 34 | 106 | 379 |
| 就農支援資金 ^(注2) | - | - | 47 |
| JA新規就農応援資金 | 20 | 45 | 146 |
| 合計 | 54 | 151 | 572 |

(注1) 2014年度に取扱開始となった、日本公庫資金。

(注2) 就農支援資金は2014年度までの旧制度に基づく制度資金であり、2015年度以降の資金実行はなし。

2-2 農業経営者支援(セミナーの開催)

- 人材確保や経営手法等、経営ステージにあわせて様々なセミナーを開催しております。

| セミナー等名称 | 主催 | 開催日 | 講師 | 内容 |
|----------------------------|-----------------------------|------------|-------------------------------------|---|
| 秋田県農業法人協会若手会 令和元年度全体研修会 | 秋田県農業法人協会若手会 農林中央金庫 秋田支店 | 2019.6.18 | 株式会社農林中金総合研 究所 理事長 皆川芳嗣氏 | 「人口減少の下で農業経営は発展できる か?」と題して、農業経営者にとって最大の関 心事項である人手の問題を中心に講演。 |
| 秋田県農業法人協会 農業経営者トップセミナー | 秋田県農業法人協会 農林中央金庫 秋田支店 | 2019.6.24 | 登山家・写真家 小松由佳氏 | 「ヒマラヤを登る、難民を撮る～登山家、写真 家としての挑戦～」と題して、困難に直面した 際の瞬時の判断力やリスク管理の考え方など について講演。 |
| 秋田県農業法人協会 令和元年度第1回例会 | 秋田県農業法人協会 農林中央金庫 秋田支店 | 2019.7.22 | 農事組合法人和郷園 代表取締役 木内博一氏 | 「農業の未来を、届けるために。」と題して、農 業生産に加えて、冷凍・カット野菜、リサイクル 事業、ミニスーパーや農園リゾートといった農業 を中核とした多角的な経営手法について講演。 |
| 秋田県農業法人協会 令和元年度第2回例会 | 秋田県農業法人協会 農林中央金庫 秋田支店 | 2019.9.5 | 総務省地域力創造アドバイ ザー 吉弘拓生氏 | 「農林業・金融・自治体が連携する令和時代 の地域創造」と題して、「農林業」「金融」「行 政」と連携することで実現した、観光振興と地 域ブランディングの取組事例について講演。 |
| 秋田県農業法人協会 令和元年度第3回例会 | 秋田県農業法人協会 農林中央金庫 秋田支店 | 2019.11.19 | 日本農業経営大学校 専任講師 小野史氏 | 「インタビューで知る食べ手のリアル」と題して、 自身の消費者インタビューでの事例を通じた、 現代の多様な食卓と暮らしのあり方などにつ いて講演。 |
| 秋田県農業法人協会若手会 パートナー研修会 | 秋田県農業法人協会若手会 農林中央金庫 秋田支店 | 2020.2.6 | 株式会社農業総合研究所 代表取締役会長/CEO 及川智正氏 | 「ゼロから上場まで!～新しい農産物流通へ の挑戦～」と題して、自身が取組んだ生産者 と販売者の双方にメリットのある流通プラッ トフォーム構築やそのビジネスモデルについて講演。 |

3 農業担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンクあきたでは、農業担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めております。

3-1 負債整理資金による負担軽減支援

- JAバンクあきたでは、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【2019年度 負債整理資金貸出実績】

(単位:件、百万円)

| 資金名 | 実行件数 | 実行金額 | 2020年3月末残高 |
|------------------------------|------|------|------------|
| 農業経営負担軽減支援資金 ^(注1) | 0 | 0 | 810 |
| 畜産特別資金 ^(注2) | 0 | 0 | 592 |
| その他 | 23 | 56 | 3,587 |
| 合計 ^(注3) | 23 | 56 | 4,989 |

(注1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注3) 合計値は端数調整しています。

3-2 動産担保融資の活用

- JAバンクあきたでは、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取り組みを行っております。
- 当県における融資の実績は下表のとおりです。

【2019年度 動産担保融資実績】

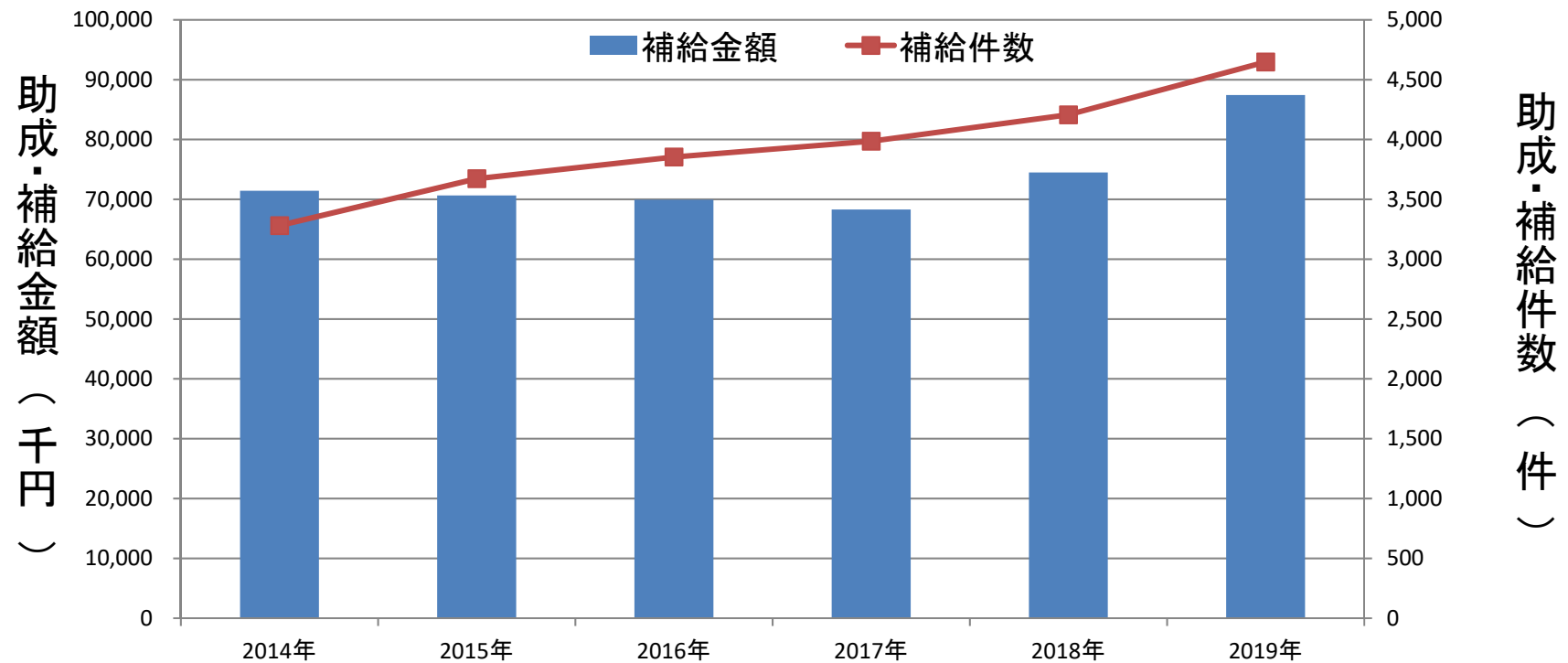
(単位:件、百万円)

| 種 類 | 件数 | 残高 |
|-----|----|----|
| 畜産物 | 2 | 20 |

3-3 農業融資への利子助成・利子補給の実施

- JAバンクあきたでは、農業者に対するJA農機ハウスローン、アグリマイティー資金、農業近代化資金等の融資について、最大1.0%の利子助成および利子補給を行いました。

【利子助成・利子補給事業の実績推移】



4 農山漁村等地域の情報集積を活用した

持続可能な農山漁村等地域振興への貢献

JAバンクあきたでは、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っております。

4-1 自然災害等による被害を受けた農業者への支援

- JAバンクあきたでは、自然災害等による被害を受けた農業者に対し、円滑な経営維持・再建のため、必要となる資金を対応しました。

【2019年度 災害等対応融資実績】

(単位:件、百万円)

| 資金名 | 実行件数 | 実行金額 |
|------------------------|------|------|
| 農・漁業経営資金 フォローアップ資金 | 11 | 21 |
| 自然災害・異常気象 農家支援資金 | — | — |
| アグリマイティー資金 (災害緊急資金) | — | — |
| 合計 | 11 | 21 |

4-2 新型コロナウイルス対策資金について

- JAバンクあきたでは2020年3月に、新型コロナウイルス感染症拡大により収益等に影響を受けた農業者を対象とする「アグリマイティー資金（新型コロナウイルス対策）」を創設いたしました。

| 資金名 | アグリマイティー資金（新型コロナウイルス対策） |
|-------|---|
| 対象先 | 組合員（正組合員、准組合員）、農業者等で、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた先 |
| 資金用途 | 運転資金等（資金払出しにあたっては、証憑書類で農業に係る資金であることを確認） |
| 貸付期間 | 5年以内（証書貸付、据置き2年以内） |
| 金利 | 1.0%以上（今回の事象を鑑みつつ、JAで設定） |
| 利子補給 | 最大1.0% の利子補給（「JAグループあきた」より、貸付当初より3年間） |
| 保証料助成 | 最大0.5% の保証料助成（「JAバンク」より 最大5年間 ） ※2020年度からの追加施策 |
| 金額 | 5百万円以内（一取引先あたり：個人・法人共通） |
| 保全 | 担保：無担保での取扱いも可とする。 保証：原則として秋田県農業信用基金協会の保証を付し、必要に応じ個人保証を求める。 |
| その他 | 県連（全共連・全農・金庫）にて最大1%の利子補給を実施。 |

4-3 JAバンク食農教育応援事業の展開



- JAバンクあきたは、子どもたちが、食料を生産する「農」の役割や重要性、自然・社会環境と「農」のつながり等について学び、農業に対する理解を深めていただけるよう、食農教育を中心とする教育活動を行っています。
- JAバンクあきたを通じて、教材「農業とわたしたちの暮らし」を、県下小学校200校の小学5年生へ、約1万冊を無償配布し、学校の授業等で活用されています。また、特別支援教育版を希望する特別支援学校(学級)にも配布し、活用されています。